

町民の皆様

大木町の子どもを地域で見守り、育てましょう。

大木町では、令和2年6月2日、町内の用水路で発生した小学生兄弟の水の事故を永く心に留め、二度と悲しい事故を起こさないという決意のもと、かけがえのない子どもたちの命を守るために、6月2日を「大木町安全の日」として、安全で安心なまちづくりを進めています。

子どもたちが、様々な体験を通して安全に生活するための判断力や行動力を身につけていくためには、学校と家庭、地域が連携して子どもの生活の様子を見守り、育てていくことが大切です。

水難事故や交通事故、犯罪から子どもたちを守り、安心して安全に生活できる地域づくりに向けて、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

○事故や事件につながるような危険な行為を見たときは、声をかけましょう。

「～は、危ないから止めなさい」「早く帰ろうね」「一人でいると危ないよ」など

○子どもたちに、体験を通して「生きる力」としての安全に生活するための知識や判断力を育てましょう。

- ・道路の安全な横断、自転車の安全な乗り方、不審者等の犯罪にあわない行動など
- ・堀や川の近くでの安全な行動の仕方など

○あいさつ運動をとおして豊かな人間関係を築き、住みよい地域づくりを進めましょう。

- ・登下校中の子どもたちや出会った子どもたちに

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「気をつけてね」など

- ・子ども見守り隊や交通指導の方々に

「おはようございます」「お世話をおかけします」「ありがとうございます」など

令和3年5月30日

大木町長 境 公雄

大木町教育長 北原 孝徳